

平成 31 年度第 1 回二宮町お互いさま推進協議会 議事録

- 1 開催日時 平成 31 年 4 月 25 日（木）午後 6 時 30 分～午後 8 時
- 2 開催場所 二宮町役場 第 1 会議室
- 3 出席者 お互いさま推進協議会委員：12 名（欠席 3 名）
事務局：健康福祉部長、高齢介護課長、地域包括ケアシステム推進
班員 2 名
- 4 協議事項
 - (1) 委員活動報告等について
 - ① 各小学校区の活動報告
 - ② 一色小学校区地域再生協議会「移動（外出）支援検討部会」の報告
 - ③ 生活支援コーディネーターの活動報告
 - ④ にのにかフェの報告
 - (2) 平成 31 年度の活動について
 - (3) その他
- 5 議事録

1. 開会・町長挨拶・会長あいさつ

町長 お互いさま推進協議会は今年で 3 年目になる。小学校区毎に地域の方々にご参加を促進し、また生活支援コーディネーターの配置にも取り組んできました。いろいろな成果が生まれている中、これから報告がありますが、山西小学校区では「たんぽぽさきえたい」という組織や名称が決まりました。どんな組織で何をするとところなのか、より地域の方にわかっていただけるかと思えます。制度が始まってもすぐに地域の方のご理解を得るといのは難しい部分がありますが、3 年目ということでより具体的になってくるかと思えます。こちら後ほど報告があるかと思えますが、一色小学校区の地域再生協議会では、バスの便が少なく不便ということで、移動サービスの研究会が発足しました。多くの地域の方々に参加していただき、自分たちでできることはないかを模索しています。このように地域で必要なことを自分たちで考えていこうとする活動が始まっています。健康で長生きするためには、地域との関わりや繋がりを持つことが重要と思っております。事業者だけではできないことなので、ぜひ皆様のお力をお借りしたい。

事務局 ありがとうございます。この後町長は公務のため退席させていただきます。

きます。

次に会長からご挨拶をいただきたいと思いますが、昨年に引き続き会長を名倉さん、副会長を依田さんに一年間お願いしたいと思います。よろしく願いいたします。

それでは、名倉会長ご挨拶をお願いいたします。

会長 みなさんこんばんは。貴重なお時間にご出席いただきありがとうございます。平成最後の協議会となりますのでみなさんからの熱いご意見を賜りたいと思います。よろしく願いいたします。

事務局 ありがとうございます。

本日会議の傍聴につきましては、傍聴者がおりませんのでこのまま始めさせていただきます。(配布資料の確認) これより進行は会長にお願いしたいと思います。よろしく願いいたします。

2. 議題

会長 それでは議題に入りたいと思います。本日は新しく委員になられた方もおりますので、改めて自己紹介をお願いしたいと思います。

(自己紹介省略)

会長 それではこのメンバーで一年間この協議会をやっていきたいと思えます。よろしく願いいたします。

(1) 委員会活動報告

① 各小学校の活動報告

会長 それでは議題(1) 委員活動報告等について①各小学校区の活動報告をお願いしたいと思います。まず一色小学校区の担当よりお願いいたします。

委員 一色小学校区福祉協議会関連の報告をいたします。一色小学校区の福祉協議会には昨年まで一色小学校区再生協議会というのがありました。先日4月22日に第一回の福祉協議会の定例会を行いました。会員は全員で21名です。今年度は再生協議会から独立し、一色小学校区福祉協議会として発足いたしました。それにともない規定の変更と会員3名が変りましたので、目的などについて再度お話をいたしました。今まで役員会は地域住民のみで行っていましたが、今年度より生活支援コーディネーターにも参加いただき、いろいろな情報をいただきながら役員会をすすめてまいりたいと思います。今回は主に地域の通いの場についての話をいたしました。通いの場に関しては各地区さまざまな課題を抱えておりますが、その中でも百合が丘地区では、緊急通報システムについての説明会が大変評判がよかったです。今後も各地区で開催してはどうかという意見がでました。また百合が丘では通いの場を開催している場所が他のサークル活動でも使用されております。通いの場を開催には場所代などはかかりませんが、有料で場所代を払って活動している他のサークル活動の方が優先されてしまいます。地区の中では柔軟に対応しておりますので今現在は問題なくスケ

ジュール通り通いの場を開催しておりますが、新たにイベントなどを開催する場合には、場所の確保が難しいという意見がありました。他には今後も継続性を持って開催していくには開催する側の人材確保が課題というお話がありました。それから緑が丘では、水曜日はミニデイの流れで、オーダー制で昼食をとりながら通いの場を開催していますが、食事の提供には大変苦労があるようです。お昼が必要な人は、事前に名前の登録や出欠席の連絡をする決まりですが、連絡がないこともあり担当者は苦労しているというお話でした。また水曜日以外にも土曜日に子どもから大人まで誰でも参加できるというかたちで通いの場を開催しておりますが、土曜日に設定した効果が出ておりません。もう少しターゲットをしばり宣伝していこうという意見がでました。以上が一色地区通いの場についての報告になります。

それからコミュナルダイニングの利用についてです。毎月第四木曜日をこの福祉協議会で借りることになりました。今日がその初日で役場職員も参加しました。会員みんなでこれからの取組みについて意見を出し合いました。11時から1時までの2時間でのべ20名くらいの参加がありました。2階の和室も使えますのでいろいろ考えながら運用していこうと考えております。

それから一色小学校区の見守り活動について冊子にまとめました。これをインターネットや一色小学校区内の生活支援ファイルなどに載せたいと考えております。ただ活動の曜日なども載っておりますので一色小学校区内の限定と考えております。

それから一色小学校区の協議体の愛称についてですが、一色の「一」と福祉協議会の「福」をとってひらがなで「いちふく」という名称に決まりました。先ほどお話したコミュナルダイニングを利用した活動でも「いっぷく茶屋」というような名称でやっていこうと考えております。以上です。

会長 山西小学校区が「たんぼぼささえたい」、一色小学校区が「いちふく」と名称が決まり、名称が決まっていないのは二宮小学校区です。通いの場の運営についてですが、緑が丘、百合が丘それぞれに運営委員会や実行委員会等があるのですか。

委員 緑が丘は社協部会の役員が中心になって運営しています。
委員 百合が丘は福祉協議会の愛称「ゆりふく」が全ての通いの場の運営をしています。

会長 その運営費は地区社協からですか。
委員 地区社協からゆりふくに、そこから百合が丘1丁目、2丁目、3丁目それぞれの通いの場へというかたちです。

委員 自治会からの補助はないのですか。
委員 社協にはありますが、ゆりふくの方にはありません。
会長 富士見が丘・松根では、通いの場の実行委員会という組織を作り活動しています。その運営費は富士見が丘・松根の地区社協部会からいただいています。一概にどのような形での運営方法がよいとは言えませ

んが、地区によってそれぞれ違いがあるということですね。
では次に、二宮小学校区につきまして生活支援コーディネーターから
お願いします。

委員 まず資料の「わがまちにのみや」をご覧ください。二宮小学校区に
関して、裏面に前々回の12月10日に開催したときの様子の写真を掲載
しております。この後2月22日に同じくデイサービスぽっかぽか二
宮をお借りして開催し、16名の参加をいただきました。前々回は自
己紹介からはじめましたが、前回の2月22日では地域にどんな資源
や情報、盛り上がるためのアイデアを出し合いました。例えば吾妻山
にカフェを作る、古本市を開く、ボードゲームが出来るたまり場のよ
うなところを作るなどの意見が出ました。また二宮小学校区にあるお
店、例えばパン屋やシフォンケーキ、シュークリームなどあまり知ら
れていないスイーツの店舗など情報の収集をいたしました。またその
際このような会を引き続き行っていくことの了解を皆様から得まして、
二宮小学校区の協議体の立ち上げとしました。先ほど会長からもお話
がありましたが二宮小学校区についてはまだ協議体の名称が決まって
おりませんので、次回までの宿題としました。次回の開催は連休明け
5月の中旬くらいに開催を予定しております。以上です。

会長 では山西小学校区の活動報告につきまして、引き続き生活支援コー
ディネーターよりお願いします。

委員 引き続き資料「わがまちにのみや」の表面をご覧ください。協議体名
が「たんぽぽささえたい」決まり、これまではデイサービスはなの杜
をお借りし開催していましたが、3月19日は越地のシニアハイツを
お借りし開催いたしました。20名くらいの方に参加をいただき、今
回はこれまで話し合った内容を踏まえ、具体的にどんなことをしてい
きたいかという話しを中心に進めていきました。その中で「世代交
流」というキーワードがあがりました。東大跡地で開催している自然
塾を活用するのはどうかという意見があり、主催者の方に次回お話を
してもらえるよう調整するというので終了しました。その後課長か
ら自然塾の主催者に連絡をとり、東大跡地での自然塾を見学してきま
した。

次回また越地シニアハイツをお借りし5月27日(月)に開催いたし
ます。その際にはスライドを使用し現在行われている自然塾の様子な
どを説明していただくことになっております。今後どのように進行し
ていくかわかりませんが、お話を聞きながらどんなことができるかと
いうことを探っていきたいと思っております。

② 一色小学校区地域再生協議会「移動(外出)支援検討部会」の報告

会長 次の議題になります。一色小学校区再生協議会に「移動(外出)支援
検討部会」が発足しました。部会メンバーより報告をお願いします。

委員 昨年1月16日に横浜でありました服部先生の講演をきっかけに、一
色小学校地区地域再生協議会の中で「移動(外出)支援検討部会」を

立ち上げることになりました。

4月20日に移動支援検討部会が開催され、移動支援についての話を2時間ほどいただきました。高齢者の外出が難しくなっているという話が二宮だけでなく全国的に言われています。買い物難民といわれる人たちが約700万人いるというデータも総務省からもでています。今回は全国的なそういったデータも踏まえ、二宮町の困っている人の数や、困っている事柄の状況分析から始めました。アンケートの必要もありますが、アンケートをとるにはどのような支援が必要か考える必要があります。最初の課題は、ニーズの把握をどのように行っていくかということになると思います。アンケートだけでなく、民生委員の方やゆめクラブ、現在地域で活動している方など、少ない社会資源の中でもそういった方々からの情報を繋いでいくことが必要になってくると思います。その手法として、先ほどの開成町の資料の中にもありました「社会資源や地域資源」のフォーマルな社会資源、インフォーマルな社会資源、ナチュラルな社会資源というものを整理しながら考えていくのがよいかと思います。町民主体で支え合うということをもとにしたインフォーマルな社会資源というものを生み出していくことが必要になるかと思います。それを行うには、車を使用した支援だけではなく、一緒に歩いて買い物に行くというような支援もあるとよいのではないかと思います。二宮町には高低差のある地域もありますが、健康的には歩くことはよいことです。さほど広くない二宮町において、そういった仲間作りも必要なのではないかと思います。それから公共交通も路線としてはとても張りめぐらされています。そういったものを活用し、それでもどうしてもそういったものを使えない、使いにくいといったケースに限定して地域で支えあうという制度を作っていくとよいと思います。また例えば、ベンチの設置や、歩道と車道をきちんと分けて歩きやすくするなど、移動しやすい町づくりといった視点も含め対策を考えていくとよいと思います。それから、自動車を使った支援の場合についてはどうしてもリスクが大きくなります。特に最近では高齢者の事故が毎日のように記事になっています。こういった支え合い活動は、比較的支えられる側、支える側の両方が高齢者という現状がありますので、リスクマネジメントについてもきちんと考えていく必要があると思います。こういったリスクマネジメントをきちんと行うためには、ある程度組織立った支え合い活動にしていかなければいけないと思います。その中でリスクを少なくしていく知恵を出し合っていくことが大事かと思います。以上です。

会長 今、高齢者による事故などが多発していて免許の自主返納についての議論などもあります。高齢者の移動支援は必要なことですのでぜひ皆さんで知恵を出し合って頑張ってください。

③ 生活支援コーディネーターの活動報告

会長 では次に生活支援コーディネーターの活動報告についてお願いしま

す。

委員

前回のお互いさま推進協議会後の活動の報告です。

○1月25日地域支え合いフォーラム足柄サミット

開成町で今行っている住民主体参加型の支え合い活動の報告、開成町で実際に活動されている生活支援コーディネーターの活動報告、綾瀬市の方と情報交換、意見交換をいたしました。

○外出支援担い手研修

外出支援の注意点や他の地域のさまざまな事例の報告。

○みんなで作る地域支え合い研修

清川村、伊勢原市、南足柄市で行っている老人クラブによる生活支援活動の発表を行いました。

○3月9日包括主催の神奈川県的生活支援サービス担い手養成研修

横浜地域福祉研究センターの講師によるお話、「地域にこんなことがあったらいいね」「こんなことするにはどうしたらできるのかな」というグループワークを行いました。

○市町村社協の生活支援コーディネーターの情報交換会

沖縄の離島で行っている生活支援体制事業の活動報告、

後半は二つのグループに分かれ、三浦市・南足柄市・箱根町・横浜市・綾瀬市・海老名市・茅ヶ崎市などと情報交換。二層の協議体までは進んでいるけれども、その一歩先に踏み込むというところがなかなかできていないというお話が皆さんから聞かれました。また今盛んに言われている移動支援という話題も出ました。動き出しているところもありましたが、どのように進めていこうか研究しているというお話も聞かれました。

○一色小移動支援検討部会

コミュニティバスなどの移動手段に合わせてご自分の生活のリズムを変えているという方もいるというお話を聞き、そういった方法も必要になってくるのかなと思いました。あとは身近なところへは自分の足で歩いて行けるよう歩ける環境を整えるということがとても大切だと感じました。

最後に「わがまちにのみや」生活支援コーディネーターだよりについてですが、前回の発行は2月で、5月6月くらいには4号目が発信したいと考えています。その際には地区社協部会長を通し各通いの場やホームページにも載せていきたいと思えます。以上です。

④ にのになカフェの報告

会長

次に、にのになカフェの報告を包括からお願いします。

委員

にのになカフェについて報告いたします。「わがまちにのみや」をご覧下さい。ニーズを拾うということが地域を知るという意味で大事と考えています。今年度・来年度の活動になると思いますが、この場でも地域の資源や強みについて探っていきたいと思えます。にのになカフェですが、昨年度は認知症というキーワードをもとに、どのくら

いの人が集まるのかということを含め開催いたしました。毎回40人程の方に参加いただき、明るい雰囲気で行うことができました。今年度の開催については、一色小学校区の報告にもありましたが、毎月第三・第四木曜日に開かれる「いっぷく茶屋」の中で、毎月一回にのんにんカフェとして、認知症の内容を交えた催しができればと考えています。具体的な案はまだでていませんが、他にも声かけをしながら、いろいろなところで認知症の内容を交えた集まりの場を作りたいと考えています。それから、昨年度の開催の中でもう一つのニーズとして、介護者同士が繋がれる機会がほしいというお声が多くありました。現在二宮にはそのような機会がなく、包括の中でも深刻な相談や、介護者が疲弊しているというケースが多々あります。やはりこの二宮に家族会のようなものや、お互いの愚痴や経験を語り合える場を作りたいと考えています。介護者の家族会をやっている方の実際のお話を聞く講演会の企画もしているところです。

会長 「いっぷく茶屋」での認知症についての集まりというのは、のんにんカフェとは別のかたちということですか。

委員 場所を間借りし「のんにんカフェ」を併設して行います。

委員 開催の際には「のんにんカフェ」の旗もきちんと出してください。

(2) 平成31年度の活動について

会長 では今年度の活動について事務局の方からお願いします。

事務局 お互いさま推進協議会の取り組み状況ですが、平成30年度は7月にセミナーを開催いたしました。今年度につきましても7月頃にセミナーを開催してはどうかという意見が出たと思います。またセミナーの内容ですが、今まで生活支援体制整備についてなど制度的なものが多かったので、今年度はもっと具体的に何ができるかということを考えられるようなお話をしていただける講師を招きたいという意見が出ていたと思います。それから、買い物などの移動手段等について、小さい地域でできることや、小さいけれども町全体でできることを探していけたらという意見がでていたと思います。資料の来年度についてを見ていただきますと、②で「支えたい人を支える視点を持ちニーズを調べ、何か小さなことでいいので地域の住民や団体等が行動を起こせるように支援していく。」とあります。高齢化が進んでいく中でこれからの担い手を生み出していけないと通いの場一つをとっても継続していくのが不安という声もあり、支える側の担い手を増やしていくためのセミナーやヒントになるようなセミナーを開催したいという意見もありました。それを踏まえ今年度どういった内容のものを行うかご意見をいただきたいと思います。

会長 行政の方で考えている講座はありますか。

事務局 はい。担い手を増やしていきたいということで、リーダー養成講座という介護予防のボランティア向けの講座はやっていますが、今年は新しい方を対象とした講座とこれまで活躍されているボランティアの方

を対象としたスキルアップの講座の２本立てを考えています。ですが、新しい方の募集にどれだけの人が参加して下さるかということがありますので、担い手の必要性についてのお話を聞いたうえで、次のリーダー養成講座に繋げていくのもよいかと考えています。皆さんからセミナーの内容についてご意見があればご提案ください。

委員 二宮町 18 箇所で行われている通いの場をまわらせていただきました。大変熱心にやっていただき盛り上がってきていると感じていますが、今後もこれを継続していくには支える側の担い手が不足しているという声を聞きます。昨年社協も役員や評議委員向けの研修会を行い、武蔵野大学の渡辺先生に「地域の身近な拠点づくりと地域共生社会」というテーマでご講演いただきました。拠点のあり方など講師の方の違った視点からお話を伺うことで気づくことも多々ありました。まだそういったところに来られてない方で興味のある方に先生からお話をさせていただければもっと地域の拠点づくりに活かされるのではないかと思います。

会長 地域の担い手の定義とは具体的にいうと、それぞれの地域の通いの場でお世話等をする人ということになるのでしょうか？

委員 一つはそうですが、ただそれに限ったことではありません。

委員 他に参加してきたセミナー等では担い手についてはどのようなお話がありましたか？

委員 参加したセミナーでは、例えば今ある通いの場のようなものを続けていくために、後任となる担い手やリーダーをつくらなくてはいけないということではなく、いろいろな活躍できる場があれば、たとえ一つの場がなくなったとしてもまた違う場所で活躍できるというように、みんなが活躍できる場（拠点作り）をどう増やしていくかが大切というお話でした。

委員 私は、協議体が各地区にできましたので、その後はどのように運営していけばいいのかというお話していただける方がいいなと思います。

委員 先ほどお話した渡辺先生は、社協で開催したときは拠点づくりについてのお話でしたが、おそらくいろんな知識をお持ちだと思いますので、こちらからそのようなことについてお話していただけるか相談してもよいと思います。

事務局 それでは、講師の先生については今後検討するとして、内容については、町民向けという大きな枠のセミナーではなく、実際に協議体に参加している委員やメンバー向けのセミナーがよいということでしょうか。

委員 そういったお話が出来る方を社協でも探してみたいと思います。

事務局 小学校区それぞれ進み具合が違いますが、三つの協議体がやろうとしていることを具体化していけるようにセミナーを考えていきたいと思っています。地域の協議体に参加されている方、興味をもってらっしゃる方を対象とし、一方的に教授されるだけでなく、実際にみなさんが困っていらっしゃることを一緒にディスカッションできるようなかたち

で講師の選定など検討したいと思います。
いつごろ開催するかなどは事務局の方で案を検討させていただくとい
うことでよろしいでしょうか。

会長 よろしくをお願いします。

(3) その他

会長 では、その他について事務局からお願いします。

事務局 昨年、認知症が大変増えてきているということで、認知症になっても
安心して暮らせる地域にしていきたいというお話をさせていただきました。
4月17日に町内にあるセブンイレブン3店舗と、見守り協定
の提携式を行いました。神奈川新聞にも載せていただきましたが、こ
れから湘南リビングやタウンニュースにも載る予定です。見守りをし
ていきましようという協定ですが、具体的に店員の方向けにどういっ
たことをしていただいたらよいかということが書かれました「異変を
感じたら」というものをパウチしてお渡しさせていただきました。

委員 包括でも今、見守り対象とはどういった方かという周知を広げていく
活動をしているところです。

会長 その他、次回の連絡等ありますか。

事務局 次回は7月25日木曜日を予定しております。場所は次回も二宮町役
場第一会議室を予定しておりますのでよろしくお願いいたします。

事務局 本日は遅くまでありがとうございました。

(終了)